

広報 きょうほく

平成4年10月1日

第9号

発行所 峡北広域行政事務組合
編集 峡北広域行政事務組合総務課
印刷所 有限会社 中央印刷

昭和58年、消防活動の紹介を中心に、防災意識の高揚、並びに組合事業を御理解いただくことを目的に「広報きょうほく」第1号を発行以来、今年で満10年目を迎えることができました。

これからも、皆さんの御意見、御要望を伺いながら、当組合と住民の皆さんを結ぶパイプラインとして、よりよい誌面づくりに励んでいきたいと考えています。



平成4年度全国統一防火標語

点検を重ねて築く “火災^{ゼロ}”

9月1日

防災の日

《呼吸を合わせて防災訓練》



ハシゴ車による救出訓練

九月一日「防災の日」、この日は、突然発生する災害には、日頃の訓練こそが重要と、東海地震の発生を想定して、地域住民総参加により、地震予知の時点から地震発生までの実践的な防災訓練を実施し、防災意識の高揚と地域、関係機関、事業所等の実情に即した防災体制の確立を図ることを目的に毎年行われています。

今年も、交通規制や避難誘導緊急物資の輸送、被災者の救出・救助、炊き出し、給水、消火器やバケツリレーによる初期消火ポンプ車による本格的な建物火災消火などさまざまな訓練が各会場で展開されました。

参加者たちは「いざというとき家族らの生命を守るためには



日頃からの訓練が何より大事」と話し、厳しい残暑の中、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。今後も、一人でも多くの方が各種訓練に参加し、いざという時に備えましょう。

登山者救出で



4人を表彰

峡北消防本部では去る六月二十五日、須玉町の瑞牆山中で毒のある野草を食べ動けなくなった男女の救出に協力した同町瑞牆山荘経営者八巻久さん、埼玉県戸田市、会社員鳥井孝雄さん、東京都府中市、会社員小野秀さん、同八王子市、会社員羽深武久さんの四人に表彰状と記念品を贈りました。

これは、去る四月二十七日夜、東京都内の会社員二人が、毒草のコバイケイソウを食用のオオバギボウシと間違つて食べ、手足がしびれ、富士見平小屋で歩けなくなつてしまったところを、八巻さんや登山客の鳥井さんらが消防署へ、通報、協力して夜間の山道を数キロ搬送し救急車に収容した人命救助の功労に対し贈られたものです。

平成4年度当初予算

13億1,008万3千円

快適な環境と

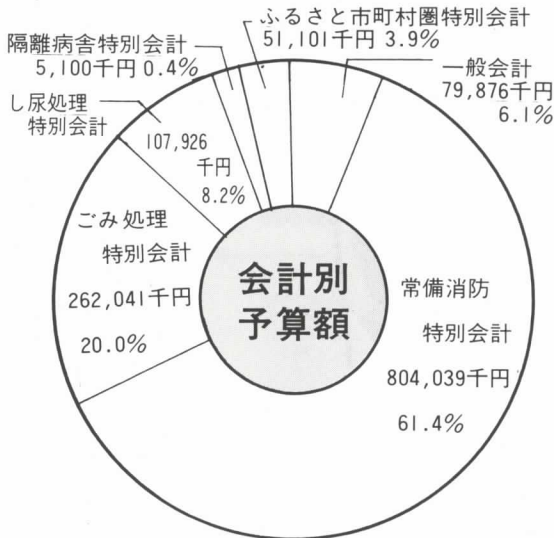
安全な地域づくりの為に...

平成四年度の、峡北広域行政事務組合当初予算が、三月定例議会において可決されました。

当組合予算は、一般会計とそれぞれの目的に応じた五つの特別会計で構成されており、一部の使用料、手数料を除き、そのほとんどが関係する市町村の負担金でまかなわれています。

予算額は十三億一千八万三千円で、昨年と比べ四億九百九十九千円の減となっています。

これは、前年度新規事業である、ふる



さと市町村圏計画の基金積立金である前年度分五億円の積立が終了したことによるもので、実質九千九十万一千円の増となっています。

会計ごとの概要は次のとおりです。

- 一般会計
組合全体の運営や各部門の調整、また峡北地域の経済を活性化するための経費です。
- 常備消防特別会計
消防車や救急車の運行、また防火・防災に要する経費です。
- ごみ処理特別会計
不燃物や可燃物、粗大ごみなどを処理するための経費です。
- し尿処理特別会計
し尿を浄化処理するための経費及び、その施設の維持管理のための経費です。
- 隔離病舎特別会計
伝染病が発生した場合、患者を収容・隔離し、治療するための経費です。
- ふるさと市町村圏特別会計
峡北広域市町村圏の創造的、一体的な振興整備に関する経費です。

秋の火災予防運動

11月6日から

11月15日まで

秋から冬にかけて、強風が吹き空気が乾燥し、火災の発生しやすい時期です。そこで地域住民一人ひとりの防災意識の高揚を図り、火災の発生や悲惨な焼死者、貴重な財産の損失を防止することを目的に、毎年十一月九日から十一月十五日まで秋季火災予防運動が全国一斉に実施されています。火災予防期間中には、全国各地でさまざまな防火行事がくり広げられます。

地域ぐるみで参加しよう!

当消防本部でも、各地において街頭広報、消火訓練、防火指導等、各種行事が予定されていますので、積極的に参加するとともに、一人ひとりが火災予防を心がけましょう。

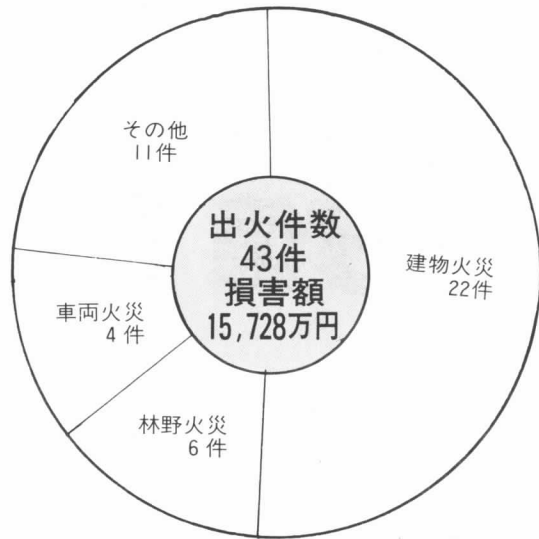


火災は、四十三件発生しています。そのうち建物火災が二十二件、林野火災が六件、車両火災が四件、その他に十一件発生しました。昨年同期と比較すると、一件増となっています。損害額は、一億五千七百二十八万円でした。

出火原因は、たき火によるものが八件でトップ、次いでたばこの不始末によるものが七件、以下ストーブによるもの、火遊び等が続いています。

火災

平成四年八月末現在の火災と救急出動の状況は、次のようになっています。



火

災

救急

平成4年8月末現在

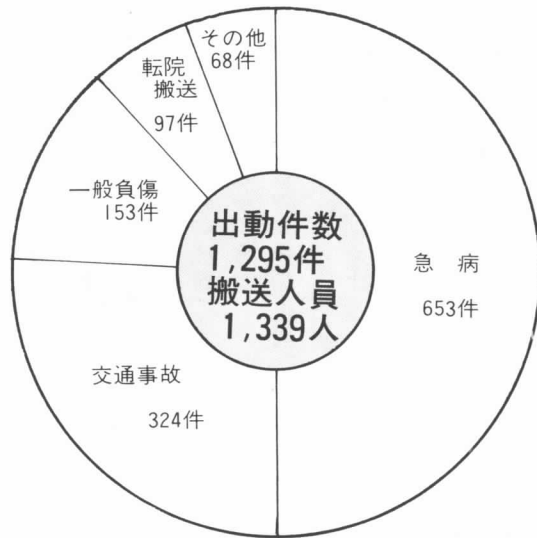
火災・救急出動一覽表

市町村名	火件	災数	救件	急数
葦崎市	10			416
双葉町	4			109
須玉町	5			102
明野町	6			62
白州町	3			71
武川村	0			53
高根町	6			181
大泉町	1			78
長坂町	5			119
小淵沢町	3			94
管外	0			10
合計	43			1,295

救急出動は、千二百九十五件で昨年同期より二件減っています。一日に平均すると約五件から六件出動したことになります。

病院に運ばれた人は千三百三十九人で六十五人に一人が運ばれたことになりました。

出動件数で最も多いのは急病で六百五十三件、次が交通事故の三百二十四件、一般負傷の百五十三件、転院搬送の九十七件とつづき、その他に六十八件ありました。



救急

防火管理者講習会

を開催

予防指導の一環として毎年開催している防火管理者資格付与講習会が、七月十四、十五日の両日、葦崎市農協会館で行われました。昭和四十六年に第一回講習会を開催以来今年度で二十二回を数え、毎年百余名の修了者を送り出しています。

防火管理者とは、消防法に基づき、一定規模以上の施設等に選任義務があり、施設内の消防設備の維持管理等、その責務は大変重いものがあります。二日間の講習では防火管理の重要性はもちろんのこと、消防法令や危険物の安全管理などの科目があり、参加者は熱心に聞き入っていました。講習会の最後をしめくくる質疑応答でも活発な意見が出され防火管理に対する意識の高さを感じました。今年度は百十五名の参加者に修了証が交付されました。



あわてず
正確に

119



次の要領で...

- 1. 火事か救急か
- 2. 場所は
- 3. 大きな目標は
- 4. 何が燃えているか
(病人・けが人の状態は)
- 5. あなたの名前と電話番号は



広がる幼年消防の輪—双葉西保育園幼年消防クラブ発足



幼年消防クラブとは、幼稚園や保育園などの幼児期に火に対する正しい知識を身につけさせることが目的です。
この程、当管内では三十二番目の発足となる幼年消防クラブが、双葉町の双葉西保育園に誕生しました。
園児達は、そろいのハッピー姿も勇ましく「火遊びはしません」と大声で誓いました。これからも、運動会・各種行事等で防火を呼び掛け防火思想の普及に貢献してくれることと期待いたします。

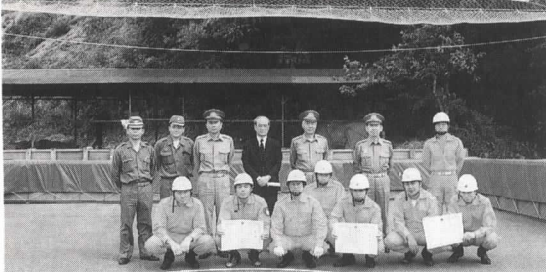


去る八月五日甲府市総合市民会館において、第十八回山梨県消防職員柔剣道大会が開催されました。大会には県内十の消防本部から百十人の選手が参加、柔道の個人・団体・剣道の個人・団体戦がそれぞれトーナメント方式で日頃鍛えた腕を思う存分、競い合いました。

その結果、峡北消防本部においては、柔道個人無段の部で優勝、同じく個人66キロ未満の部で三位、剣道個人3段以上の部で2位と各選手が健闘し好成績をおさめました。
この大会は、柔剣道を通じて消防職員の気力、体力の錬成を図り、もって消防業務の実効を期することを目的に毎年開かれています。

消防職員柔剣道大会

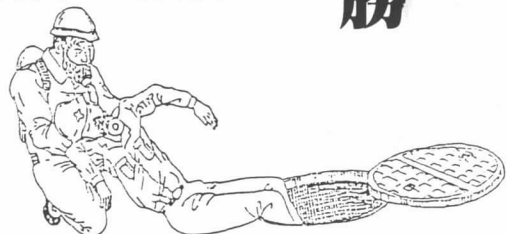
第19回山梨県消防職員救助技術訓練大会



去る六月十日、峡南消防本部において、「第十九回山梨県消防職員救助技術訓練大会」が開催されました。
この大会は、県下十消防本部から選抜された精鋭レスキュー隊員が十種目に日頃鍛えた技と力を競い合い、高度の消防技術を相互に交換するとともに、各本部の防災連帯意識の高揚を図ることを目的に毎年実施され、今年度は約百六十名が出場しました。

峡北消防本部から出場した「ほふく救出」チームは見事優勝し、また、他の種目もそれぞれ入賞を果しました。優勝したほふく救出チームは、七月二十三日千葉県で開催された消防救助技術関東地区指導会に山梨県代表として出場し、その卓越した技能を披露しました。

ほふく救出
優勝



小さな積み重ねが作るゴミ問題

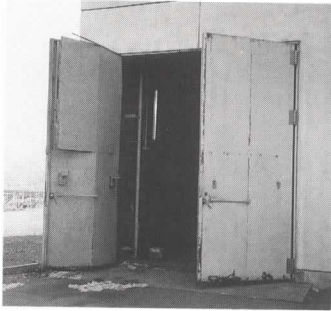
「ゴミ問題はあなたの手で」

卓上用ガスボンベ 爆発・運転不能



去る四月十四日午後三時四十分ごろ、不燃ゴミの処理中、破砕機が轟音とともに大爆発を起こしました。供給、排出コンベヤ破砕機、ダクト等機械類が破損し運転不能に陥りました。また機械搬入用大扉（厚さ二十七センチの鉄製扉・写真）も爆風により吹き飛び半分折れ曲がってしまい爆発のすさまじさを物語っていました。

辛い死傷者は出なかったものの「もしも、この場所で作業をしていたら、又、見学者がいたら」と思うと身の縮む思いがしました。



爆風で曲がった大扉

爆発の原因は卓上用交換ガスボンベに穴をあけるのを怠ったためです。応急処理を徹夜で行いましたが、五日間機械を運転できず、今回の爆発による損害は九百六十万円にものぼりました。

他の清掃センターでは、何カ月も修理を要し、この間いっさい収集を行わず、各家庭でゴミを保管するよう指導した所もあります。当センターもいつ、このような事態になるかわかりません。たった一人がルールを守らなかつたために人災が起きたり、ごみ収集が出来ずパニックが起こりかねません。

「私一人くらいは...」から、「私だけでも...」と考えを新たにしていたのだと思います。

「もえるもの」「もえないもの」の区別を

当センターはゴミの収集に二種類の紙袋を使用しています。燃えるゴミは赤い袋、燃えないゴミは青い袋に区別して収集するよう呼びかけていますが、現状はビニール袋、ダンボール等を使用する方も少なくありません。ビニール袋、ダンボール等で排出されますと、焼却時の炉の損傷、排気ガス公害の原因になるため禁止されています。

なぜ紙袋を使用するかというと、搬入された可燃ゴミを効率的に焼却するため最初にかく伴（混ぜる）してゴミの内容（紙、残飯等）を均一化するためです。ビニール袋やダンボールではこのかく伴ができず焼却能力が大幅に低下してしまいます。

また、ゴミの区別をせず、缶、ビン、鉄類の不燃物が可燃ゴミ用焼却炉に混入すると、焼却装置の故障原因になるばかりでなく人的被害ももたらします。故障の修理は一回最低でも一週間

埋立地に御理解を

埋め立て地とは可燃ゴミの焼却灰や不燃ゴミの破砕物（びん等）を埋める処分地です。当組合では平成二年度に埋め立て処分地が満杯となったため、三年度より埋め立て地の持ち回り方式が採用されました。この方法は一年毎に各市町村の利用率の多い順に埋め立て地の建設を行うものです。建設に際しては住民の皆さんに不安感を与えぬよう万全を期して埋め立て処理を行いますので今後とも皆さんのご理解をお願いします。

年度	市町村名
3	市町村名
4	敷島町
5	高根町
6	双葉町
7	須長町
8	小淵町
9	白武町
10	大泉村
11	明野村
12	明野村
13	明野市

「環境」ビデオ貸出

当センターでは、年間三千人以上もの見学者が訪れます。見学の後、児童より、作文等を礼状と共にいただき職員のみとなっておりです。

又、センターに見学に来られない方のために、ビデオテープ「住みよい生活環境づくり」を作成し各市町村の担当課に用意しました。ぜひ一度御覧いただき、ゴミ処理行政を見直して下さい。

もえないもの及び粗大ゴミ	もえるもの
<ul style="list-style-type: none"> 最大寸法、1.5m以上のもの 特殊鋼材を使用しているもの 農機具、バイク等 バッテリー、ドラム缶、温水器等 ガソリン、灯油、有害薬品の入った物 コンクリート、レンガ等 スプリング入り応接セット等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビニール、発泡スチロール、プラスチック類 ・灰

伸びゆく 峡北ふるさと市町村圏

——地域づくり・人づくり推進——

平成2年度に自治省より「ふるさと市町村圏」のモデル選定を受け、昨年4月には新たに「ふるさと振興課」を設置しました。市町村の出資並びに県の補助を受け10億円の基金を造成、その果実（運用益）により、峡北圏域の「広域観光宣伝」「生涯学習の促進」両事業を柱に活動が展開されています。

その主な事業は次の通りです。

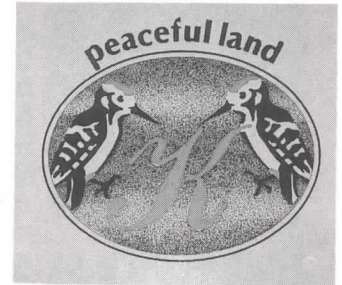
広域観光宣伝事業



観光とは、その地域が誇りを持って光を放つ、その光を観ようと各地から人々が集まることです。つまり峡北の光るものを大いに圏域外にアピールする仕事です。それは自然であつたり、生産物、歴史、ひと、景色、施設、水、文学、温泉等々あらゆるものがそれに値します。私たちの峡北には沢山の全国に誇れる観光資源があります。知恵を合わせ峡北の光を全国に発信していこうではありませんか。

●総合情報誌「ふうりーず」発刊、数えて第4号・県域内外から多くの反響を呼んでいます。皆さんのご意見、ご感想をお寄せ下さい。

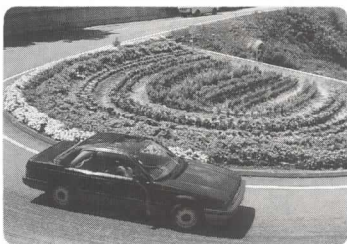
- モデル観光ルートの設定・圏域内の特徴ある8つのモデルコース「恵・泉・眺・史・健・創・躍・爽」を設定しました。このモデルコースを基に更に新しいルートへと発展することを期待しています。あなたも仲間と一緒に峡北のふるさとを歩いて見ませんか。
- キャラクターマークが誕生・峡北のサインシステム設定の中で皆様に親しまれるキャラクターマークが誕生しました。鳥は峡北全域に生息するアカゲラ、中の文字は山梨・峡北の頭文字をアレンジしたものです。豊かな自然と平和なふるさとを象徴しています。皆さんでこのキャラクターを可愛がって下さい。
- 観光キャンペーン・昨年は東京都麴町において、圏域の生産物の販売をしながら、峡北の魅力は大いに都民にアピールしてきました。今年は11月東京都の多摩圏域民を対象にキャンペーンを計画しています。都市と峡北が真心こめた生産物で結ばれ活性化することを期待しております。



生涯学習促進事業

今日、人生80年時代を迎え、また社会が複雑化成熟化したことにより、社会生活を送っていく上で学校教育修了後も引き続き、たえず新たな知識・技術を習得していくことが豊かで充実した人生を送るための必要条件となってきました。また、生涯学習に取り組むことで新しい可能性を見つけ、自己を再発見することにもつながるのです。峡北ふるさと市町村圏事業は、そんな生涯学習社会を目指しています。

- 生涯学習インストラクター養成・生涯学習に対して共通理解を持ったリーダーを養成しています。昨年、第1期29名が研修を終え、本年も9月より第2期養成研修が始まりました。
- ビデオ教材の製作・学校や地域での学習教材に、昨年「峡北の石造物・遙かなる時を超えて」を製作、本年も環境問題をテーマに取り組んでいます。どうぞ活用下さい。



- 峡北花の里フラワーライン・昨年より市町村の協力を得てすでに12万本の花の苗が植えられました。さらなる広がりに向け推進の輪に加わりましょう。
- 峡北フォーラム92・「地域から小さな国づくり」をテーマに、昨年度は2日間、延べ700名が参加、今年度も11月に開催し峡北の地域づくり、人づくりを考えます。

ガンバレ!!

須玉町東小尾婦人消防隊

第8回 全国婦人 操法大会出場



須玉町東小尾婦人消防隊(藤原勝代隊長)は、十月二十一日横浜市で開かれる日本消防協会主催の全国婦人消防操法大会に山梨県代表として出場します。今回は昭和六十二年に穴山婦人消防隊が出場以来、管内の団体としては二度目になります。

婦人消防操法は、指揮者と四人の隊員が協力し、放水を行うまでの動作の迅速・的確さを競うものです。現在、地域の皆さんの御期待に応えるべく、須玉町を始め町消防団、峡北消防本部の支援指導のもと、増富小グラウンドを主会場に連日猛練習を行っています。

皆さんの暖かい御声援をお願いします。

峡北消防 フィルムライブラリー

- 危険物の取扱い
 - あなたも防火管理者
 - 火災のあとに残るもの
 - パニック
 - ビル火災からの脱出
 - 地震を考える
 - 救急車24時間
 - あなたは火災の恐ろしさを知らない
 - 動物村の消防士たち
 - 悟空の消防隊
 - グラツときたらどうする
 - 火の用心7つのポイント
 - 地震とぼくたち
 - 友情は燃えて
 - 火事と子馬
 - みんなの幼年消防
 - わんわん火事だわん
 - あなたと救急車
 - あなたを守る一一九番
 - 消防のおじさん
 - 防火管理者 責任と誇り
 - 命を守る応急手当
- 学校、保育園、各地区での自主防災会等でご活用下さい。申し込みは、お近くの消防署、分署、分遺所まで。

峡北地区夜間急患 医療施設当番表

平成4年10月1日以降
(診療時間 午後6時~午前8時)

当番医療施設名

曜日	当日	翌日
月	須玉町藤田 電話〇五五二二二二二	長坂町大八田 電話〇五五二二二二二
火	須玉町藤田 電話〇五五二二二二二	長坂町大八田 電話〇五五二二二二二
水	須玉町藤田 電話〇五五二二二二二	長坂町大八田 電話〇五五二二二二二
木	須玉町藤田 電話〇五五二二二二二	長坂町大八田 電話〇五五二二二二二
金	須玉町藤田 電話〇五五二二二二二	長坂町大八田 電話〇五五二二二二二
土	須玉町藤田 電話〇五五二二二二二	長坂町大八田 電話〇五五二二二二二
日	須玉町藤田 電話〇五五二二二二二	長坂町大八田 電話〇五五二二二二二

この表は、夜間急患診療の当番表です。
 ◎ 峡北地区の夜間急患診療当番医は、この表のとおり毎週各曜日ごとに担当を定め実施しています。
 お問い合わせ
 峡北消防本部
 電話22-3311又は22-8181